

地域主体の特色あるまちづくりのその後 ～大阪・京都の事例を通して～

■ 趣 旨

日本都市計画学会関西支部では、都市計画・まちづくり分野において行われた調査・研究・事業やまちづくり活動の中で、特に都市計画の発展に資する特色ある成果について、「関西まちづくり賞」と称し、毎年数件の事例を表彰しており、既に15年以上経過しています。受賞地区の中には、市民や住民といった地域が主体となり特色あるまちづくりを実践している事例も数多くあります。

そこで、本シンポジウムでは、「関西まちづくり賞」を数年前に受賞した地区のなかから、地域が主体的に、先導的に特色あるまちづくりを実践しておられる大阪・京都の複数の地区を取り上げて、受賞後数年を経た事例の状況を伺うとともに、地域のまちづくりの継続性や発展性、その課題などについて考えたいと思います。

■ 内 容

◇日 時：平成27年10月7日（水） 18:30～20:30（18:00より受付開始）

◇場 所：大阪市立総合生涯学習センター（大阪駅前第2ビル5階第1研修室[ホール]）

◇定 員：50名（先着順） ※当日参加も可能です。

◇参加費：一般 1,000円／学会員・学生 無料

（学会員の方は会員証を、学生の方は学生証を当日受付でご提示ください。）

◇講 演（各20分）

- ・ 船場げんきの会（2009年度受賞） 谷口 康彦氏（副代表世話人）
大阪の歴史的都心「船場」のまちづくり【大阪市】
- ・ 西之町まちづくり協議会（2005年度受賞） 横山 経治氏（事務局長）
歴史的景観の新門前通西之町におけるまちづくり【京都市】
- ・ 高井田まちづくり協議会（2010年度受賞） 川勝 親氏（事務局長）
モノづくりのまち高井田・住工共生のまちづくり【東大阪市】

◇パネルディスカッション（50分）

- ・ テーマ：まちづくりの継続性と発展性

各地の講演者の方々からのプレゼンを経て、地域主体のまちづくりの継続や発展などについて、コーディネーターの発想する幾つかの視点からのコメントを講演者から頂くとともに、会場の方々からもコメントを頂きます。

- ・ コーディネーター：松中 亮治准教授（京都大学大学院工学研究科）



■ 各地域の紹介

船場げんきの会

船場をこよなく愛し、新たな息吹を吹き込もうと活動する 25 の活動グループ（商店会、まちづくり団体、異業種交流会、研究会など）が集まったプラットフォーム的な任意団体。

各活動グループの自主・独立した活動が中心であるが、フォーラムなどの交流を通して「船場まつり」はじめとする共同イベントや「船場ガイドブック」などの新たな活動を生み出し、今年（2023年）のフォーラムでは「船場まちづくり宣言」を発表した。

西之町まちづくり協議会

昔ながらの風情を残す良好な町並み景観を現在も有している京都有数の「古美術のまち」。

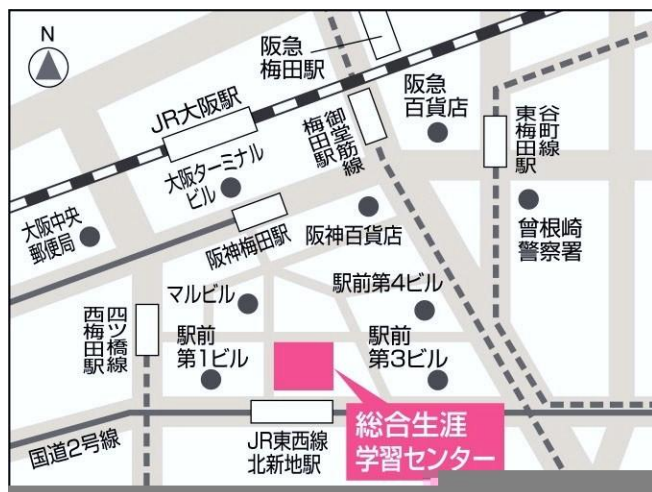
受賞時は、地区計画制度を活用し、現在の住環境の保全を図っていきこうと地域で活動を行っていた。

地区計画策定のプロセスで明らかになった町の将来像に向けて、「地域景観づくり協議会」制度等、様々な制度を活用しながら、継続的に取組を進めると共に、他地域への波及効果も出てきている。

高井田まちづくり協議会

全国でも有数の工場密度を誇る東大阪市の中で、西部に位置し最も集積密度の高い高井田地域では、「モノづくり」のまちの地域文化を次世代へ継承し、地域全体が発展できるよう、企業と住民が相互に安心して操業・居住していただけるまちづくりを実践することを目的としており、これまでも「まちづくり構想」や「地域ルール」などを策定しており、東大阪市とも共同しながら、住工共生のまちをめざしている。

■ アクセスマップ



〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-500

大阪駅前第2ビル5階

【地下鉄】御堂筋線・梅田/四つ橋線・西梅田/
谷町線・東梅田

【J R】大阪駅/東西線・北新地

【私鉄】阪神電車・梅田/阪急電車・梅田

■ 申込方法

学会HPにある参加申込みフォーム（http://www.cpij-kansai.jp/cmt_plan/top/plan.html）にて、所属・氏名（ふりがな）、連絡先、会員・非会員の別を入力・記載の上、10月2日（金）までに申し込んで下さい。

なお、参加者に対しメールにて連絡を行うことがありますので、可能な限りメールアドレスをご記入下さい。（得られた個人情報は今回の催しにのみ使用します。）

注）この講演会は「都市計画CPD」認定プログラムです。